

光星 決勝進出

ハイライト

着実に加点、東義を圧倒

序盤から着実に得点を放ち、チームを勢いつともあり、1発で仕留め重ね、8回コールドで決けた茂木祐翔はこれまでもイメージした練習の成果を現した。四回に豪快な本塁打で感銘のよいバッティンができていなかったことにした。

210で終えた準々決勝から1週間、ロングテーパー打撃に取り組み、課題の修正を図った。その成果があつたか、試合では3安打2打点の猛打賞。先頭打者として迎えた四回、初球の内角



【準決勝・東義―八学光星】4回八学光星無死、先頭の茂木祐翔が左翼席へ本塁打を放ち2―0とする＝青森県営

青森県

秋季高校野球

光星、青森山田 東北大会へ

第79回秋季東北地区高校野球青森県大会第7日は19日、青森県営球場で準決勝2試合を行った。八学光星は東義に7―0で8回コールド勝ちし、東北大会の切符を手にした。工大―は青森山田に4―7で敗れた。最終日の20日は同球場で東義―工大―の3位決定戦の後、八学光星―青森山田の決勝を行う。

きょうの試合
【青森県営】
▽3位決定戦
東義―工大― 10―00
▽決勝
八学光星―青森山田 12―30

準決勝

東 義 000 000 00 | 0
八学光星 010 112 02x | 7

(8回コールド)

(東) 松岡、佐藤、松坂、戸澤 一関川

(八) 三浦、渡邊、尾形 鈴木

▷本塁打 茂木 (八)

▷二塁打 鈴木、近藤 (八) ▷暴投 松岡、戸澤 (東)

▷試合時間＝1時間55分

(球審＝小西、塁審＝栗原、東谷、中村博)

【評】八学光星は二回2死一、二塁、向井の中前適時打で先制。四回には先頭の茂木が左翼スタンドに本塁打を放つなど、小刻みに得点して引き離した。投げては三浦、渡邊、尾形が無失点リレーで守り抜いた。

東義はわずか4安打と攻めあぐね、好機をつくれなかった。

青森山田 230 000 002 | 7
工大― 210 000 100 | 4

(青) 船橋、手代森、守一坂本

(工) 橋本、三浦 一平船

▷二塁打 齋藤、稲見 (青) 山本鷹、田中 (工)

▷暴投 船橋 (青) 三浦 (工)

▷試合時間＝2時間32分

(球審＝長内、塁審＝木下 (亮)、関、工藤)

【評】青森山田は初回1死一、三塁から2点を先制。2回にも3点を加えて点差を広げ、試合の主導権を握った。

2点差を追う工大―は7回、無死満塁で4番山本鷹が三振。押し出し四球による1点にとどまり、好機を生かせずに力尽きた。

直球を捉え、左翼席に運んだ。得点圏に走者を置いた五回2死一塁の場面でも左前適時打を放ち得点に貢献。勝負強さを発揮した。

この日が誕生日で喜びもひとしお。仲井宗基監督は「茂木の1本が大きかった。4番らしい仕事をしてくれた」と主砲の活躍をたたえた。

優勝まであと一つ。茂木は「次も得点に絡むバッティングがしたい」と意気込んだ。(中山瑞希)